

# 平成 1 9 年度 農作物病虫害発生予察 1 0 月月報

平成 1 9 年(2007年) 1 1 月 1 日  
山 口 県 病 害 虫 防 除 所

## 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 ( )								
	平 均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
10.1	22.9	19.3	3.6	29.2	24.8	4.4	18.5	14.7	3.8
10.2	22.6	18.4	4.2	26.6	24.0	2.6	19.3	13.7	5.6
10.3	19.3	17.5	1.8	24.2	23.2	1.0	15.0	12.7	2.3
10.4	17.0	16.4	0.6	23.3	22.4	0.9	12.3	11.4	0.9
10.5	16.3	15.3	1.0	24.3	21.4	2.9	9.6	10.1	0.5
10.6	17.5	14.4	3.1	22.7	20.5	2.2	13.0	9.2	3.8
平均・計	19.2	16.8	2.4	25.0	22.6	2.4	14.6	11.9	2.7
月・半旬	平均湿度 (%)			降水量 (mm)			日照時間 (h)		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
	10.1	65	78	13	0.0	19.9	19.9	33.2	27.2
10.2	71	76	5	34.5	17.7	16.8	20.0	28.1	8.1
10.3	64	76	12	0.0	16.9	16.9	20.0	28.5	8.5
10.4	59	76	17	0.0	15.0	15.0	39.3	28.9	10.4
10.5	65	75	10	0.0	12.8	12.8	43.6	29.3	14.3
10.6	69	77	8	9.0	15.5	6.5	29.9	34.3	4.4
平均・計	66	76	10	43.5	97.8	54.3	186.0	176.3	9.7

## 作物の生育状況

- ( 1 ) カンキツ : 果実肥大は平年に比べやや小さく、着色は平年に比べやや遅れた。
- ( 2 ) キャベツ・ハクサイ : 好天に恵まれて生育は良好であったが、干ばつ気味で推移したことから、灌水が十分にできなかったほ場では、生育がやや遅延した。現在収穫中のほ場は、一部で生理障害が発生した。
- ( 3 ) イチゴ : 秋口の気温が高めに推移したことから、全般的に花芽分化が遅延した。現在、出蕾～開花期にあるが、農家によってバラツキが大きい。
- ( 4 ) はなっこりー : 干ばつ気味に推移したことから、灌水が十分にできなかったほ場では、側枝の発生が遅延した。

病害虫の発生概況

1 果樹

2007年10月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
カンキツ (調査ほ場数:22) 黒点病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率100% ( 平年100% )、発病果率78.5% ( 平年81.3% )、発病度18.8(平年19.7)で平年並みであった。	県内全域	甚 80 多 483 中 644 少 563 計 1,770
かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率18.2% ( 平年23.9% )、発病果率1.9% ( 平年4.1% )、発病度0.5(平年1.4)で平年並みであった。	県内全域	少 322
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率31.8% ( 平年24.5% )、寄生葉率2.5% ( 平年3.2% ) 平年並みであった。	県内全域	少 563
ミカンサビダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率27.3% ( 平年18.7% )、被害果率0.6% ( 平年1.2% )、被害度0.3(平年0.4)で平年並みであった。	県内全域	少 483
ナマルカイガラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率13.6% ( 平年17.8% )、寄生果率0.2% ( 平年0.7% ) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少 241
チャバネアザミマ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率45.5% ( 平年45.9% )、被害果率1.2% ( 平年2.0% )、被害度0.5(平年0.6)で平年並みであった。	県内全域	少 805
果樹全般 カメムシ類 (チャバネアザミマ、 ツヤアカカメムシ、クサギカ メムシ)	10月1～4半旬の予察灯(5か所計)における誘殺数は156頭(平年64頭)で平年に比べやや多かった。優占種はツヤアカカメムシであった。	県内全域	-

病害虫の発生概況

2 野菜

2007年10月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
ハクサイ (調査ほ場数： 中旬12ほ場 下旬 9ほ場) 軟腐病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% ( 平年10.7% )、発病株率0% ( 平年1.0% )、発病度0(平年0.6)で平年に比べやや少なかった。調査ほ場番外で発生を認めた。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% ( 平年22.9% )、発病株率0% ( 平年1.7% )、発病度0(平年0.6)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少 1

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
ハクサイ 白斑病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率8.3%( 平年12.7%)、発病株率8.3%(平年3.4%) 、発病度2.2(平年1.3)で平年並みであ った。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%( 平年18.6%)、発病株率0%(平年7.2%) 、発病度0(平年2.9)で平年に比べ少 なかつた。	県内全域	中 20
べと病	初発生は10月11日(平年10月3日)に美東 町で認められ平年に比べ遅かつた。 中旬の巡回調査では、発生ほ場率8.3%( 平年45.5%)、発病株率0.8%(平年21.1%) 、発病度0.2(平年6.2)で平年に比べ少 なかつた。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率11.1%( 平年62.8%)、発病株率6.0%(平年32.5%) 、発病度1.5(平年9.6)で平年に比べ少 なかつた。	県内全域	少 20
黒斑病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3%( 平年16.8%)、発病株率7.8%(平年4.1%) 、発病度2.0(平年1.0)で平年に比べや や多かつた。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率22.1%( 平年24.6%)、発病株率8.7%(平年5.1%) 、発病度2.2(平年1.3)で平年に比べや や多かつた。	県内全域	中 20 少 59 計 79
アブラムシ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率16.7% (平年12.2%)、10株当たり虫数0.2頭(平 年2.3頭)で平年並みであつた。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率11.1% (平年6.1%)、10株当たり虫数0.2頭(平 年5.1頭)で平年に比べやや多かつた。	県内全域	少 40
ヨトウガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率16.7% (平年11.4%)、寄生株率0.3%(平年0.4 %)で平年並みであつた。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年8.1%)、寄生株率0%(平年0.2%) で平年に比べやや少なかつた。	県内全域	少 40

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
ハクサイ ハイマダラノメイガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率8.3% (平年5.1%)、寄生株率1.2% (平年0.2%)で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年2.3%)、寄生株率0% (平年0.1%)で平年並みであった。	県内全域	中 20
コナガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年10.2%)、10株当たり虫数0頭 (平年0.3頭)で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年11.0%)、10株当たり虫数0頭 (平年0.4頭)で平年に比べやや少なかった。	-	-
ハスモンヨトウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率75.0% (平年17.7%)、寄生株率6.5% (平年0.5%)で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率55.6% (平年15.8%)、寄生株率1.8% (平年0.7%)で平年に比べ多かった。	県内全域	多 20 中 40 少 118 計 178
シロイチモジヨトウ	中旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年4.0%)、寄生株率0% (平年0.2%)で平年並みであった。	-	-
ウワバ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年6.4%)、寄生株率1.7% (平年0.2%)で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率11.1% (平年4.6%)、寄生株率0.2% (平年0.1%)で平年に比べ多かった。	県内全域	中 40 少 39 計 79
オオタバコガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年4.4%)、寄生株率0% (平年0.1%)で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年2.7%)、寄生株率0% (平年0.1%)で平年並みであった。	-	-

## 2 野菜

2007年10月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
キャベツ (調査ほ場数:12) 黒腐病	初発生(平年10月15日)は現在まで認められておらず、平年に比べ遅かった。 中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年7.9%)、発病株率0%(平年2.8%)、発病度0(平年0.7)で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年18.8%)、発病株率0%(平年2.5%)、発病度0(平年0.6)で平年に比べ少なかった。	-	-
モンシロチョウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率25.0%(平年19.0%)、10株当たり虫数1.0頭(平年0.7頭)で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率8.3%(平年16.0%)、10株当たり虫数0.1頭(平年0.6頭)で平年並みであった。	県内全域	少 15
コナガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率16.7%(平年13.4%)、10株当たり虫数1.0頭(平年0.4頭)で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率16.7%(平年24.3%)、10株当たり虫数1.0頭(平年0.9頭)で平年に比べやや多かった。	県内全域	中 15 少 16 計 31
ヨトウガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率41.7%(平年14.6%)、寄生株率3.0%(平年0.7%)で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率25.0%(平年15.4%)、寄生株率0.1%(平年0.5%)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	中 46 少 31 計 77
ハスモンヨトウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率83.3%(平年52.8%)、寄生株率16.8%(平年4.3%)で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率50.0%(平年46.2%)、寄生株率1.3%(平年3.1%)で平年並みであった。	県内全域	甚 31 多 15 中 46 少 62 計 154
シロイチモジヨトウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年11.0%)、寄生株率0%(平年0.4%)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年8.8%)、寄生株率0%(平年0.3%)で平年並みであった。	-	-

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
キャベツ オオタバコガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率58.3% (平成18.3%)、寄生株率16.3%(平成0.9%) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率41.7% (平成15.3%)、寄生株率1.3%(平成0.7%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	甚 31 多 31 中 15 少 31 計 108
ウワバ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率75.0% (平成16.5%)、寄生株率7.7%(平成1.1%) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率25.0% (平成24.7%)、寄生株率0.5%(平成1.0%) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	多 31 中 46 少 62 計 139
ハイマダラノメイガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率25.0% (平成6.6%)、寄生株率7.2%(平成0.2%) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成5.6%) 、寄生株率0%(平成0.1%)で平年並みであった。	県内全域	甚 15 多 31 計 46
トマト(雨よけ) (調査ほ場数:6) 疫病	中旬の巡回調査では、発生は認められず、 平年並みであった。	-	-
灰色かび病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0(平成11.1%) 、発病果率0%(平成0.5%)、発病度0(平成0.3%) で平年並みであった。	-	-
葉かび病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率66.7% (平成100%)、発病株率66.7%(平成80.1%) 、発病葉率57.5%(平成54.3%)で平年に比べ やや少なかった。	阿東町 萩市 (旧むつみ村)	甚 19 多 6 計 25
輪紋病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平成35.6%)、発病株率5.0%(平成6.9%) 、発病葉率1.3%(平成3.1%)で平年並み であった。	阿東町 萩市 (旧むつみ村)	少 12
すすかび病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (前年0%)、発病株率20.0%(前年0%)、 発病葉率10.8%(平成0%)で前年に比べ 多かった。 注)すすかび病は、近年、他県で特殊報 が発表されているが、本県では過去周南 市で確認された記録がある。本病は、葉 かび病と混発していたと思われるが、葉 かび病耐性品種の普及により、顕在化し たと考えられる。	阿東町 萩市 (旧むつみ村)	多 6 少 6 計 12

2007年10月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
トマト(雨よけ) コジラミ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率16.7%( 平年60.8%)、寄生株率6.7%(平年32.7%) で平年比べやや少なかった。	阿東町 萩市(旧むつみ村)	中 6
オオタバコガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年11.7%)、寄生株率0%(平年0.5%)で 平年並みであった。	-	-
ハモグリバエ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率100% (平年88.9%)、寄生株率91.7%(平年63.4%) 、寄生葉率61.5%(平年34.5%)で平 年に比べ多かった。	阿東町 萩市(旧むつみ村)	甚 6 多 19 中 12 計 37
イチゴ (調査ほ場数：20) (高設：10) (土耕：10) うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0% (平年12.6%)、発病株率0.2%(平年2.6%) 、発病葉率0.1%(平年1.4%)で平年 に比べやや少なかった。	県内全域	少 4
炭疽病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.0% (平年4.5%)、発病株率1.1%(平年0.4%) )で平年に比べやや多かった。	県内全域	中 2 少 4 計 6
萎黄病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0(平年 2.1%)、発病株率0%(平年0.1%)で平年 並みであった。	-	-
菌核病	下旬の巡回調査では、発生は認められず 平年並みであった。	-	-
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率45.0% (平年22.4%)、寄生株率7.7%(平年2.9%) で平年に比べ多かった。	県内全域	中 12 少 40 計 52
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率35.0% (平年11.4%)、寄生株率13.9%(平年 2.1%)で平年に比べ多かった。	県内全域	多 6 中 12 少 22 計 40
ハスモンヨトウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率30.0% (平年32.7%)、寄生株率2.8%(平年 1.4%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	甚 6 少 29 計 35

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
はなっこりー (調査ほ場数: 中旬5ほ場 下旬4ほ場) 軟腐病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(前年20.0%)、発病株率0%(前年0.4%)で前年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(前年20.0%)、発病株率0%(前年1.2%)で前年に比べ少なかった。	-	-
べと病	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認められず前年並みであった。	-	-
モンシロチョウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率100%(前年40.0%)、10株当たり虫数3.6頭(前年0.4頭)で前年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率75.0%(前年20.0%)、10株当たり虫数2.0頭(前年0.4頭)で前年に比べ多かった。	県内全域	中 6 少 22 計 28
コナガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率40.0%(前年40.0%)、10株当たり虫数0.4頭(前年1.0頭)で前年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率50.0%(前年40.0%)、10株当たり虫数0.5頭(前年0.6頭)で前年並みであった。	県内全域	少 11
ヨトウガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率60.0%(前年60.0%)、寄生株率8.4%(前年6.0%)で前年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率100%(前年40.0%)、寄生株率7.0%(前年13.2%)で前年に比べ少なかった。	県内全域	多 6 中 6 少 5 計 17
ハスモンヨトウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率100%(前年60.0%)、寄生株率27.6%(前年4.4%)で前年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率100%(前年100%)、寄生株率0.4%(前年1.6%)で前年に比べ少なかった。	県内全域	多 22 中 6 計 28
オオタバコガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(前年20.0%)、寄生株率0%(前年0.4%)で前年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(前年40.0%)、寄生株率0%(前年0.02%)で前年に比べ少なかった。	-	-



病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)																								
はなっこりー ウワバ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率80.0% (前年20.0%)、寄生株率20.0%(前年0.4%) で前年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率75.0% (前年60.0%)、寄生株率15.0%(前年4.0%) で前年に比べ多かった。	県内全域	甚 6 中 11 計 17																								
シロイチモジヨ トウ	中旬の巡回調査では、発生は認められず 前年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率25.0% (前年0%)、寄生株率0.5%(前年0%) で前年に比べ多かった。	県内全域	少 6																								
ハイマダラノメ イガ	中旬の巡回調査では、発生は認められず 前年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率50.0% (前年0%)、寄生株率1.0%(前年0%) で前年に比べ多かった。	県内全域	少 11																								
野菜全般 ハスモンヨトウ	山口市大内のフェロモントラップによる 10月の誘殺数は、3,584頭(平年2,134頭) で平年に比べやや多かった。 表 フェロモントラップでの9月5半旬～10月4半 旬の誘殺数 <table border="1" data-bbox="438 1131 1013 1433"> <thead> <tr> <th>地点</th> <th>本年 (頭)</th> <th>平年 (頭)</th> <th>概評</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岩国市</td> <td>722</td> <td>544</td> <td>平年並</td> </tr> <tr> <td>周南市</td> <td>5,319</td> <td>3,179</td> <td>多</td> </tr> <tr> <td>阿東町</td> <td>1,270</td> <td>499</td> <td>多</td> </tr> <tr> <td>萩市</td> <td>785</td> <td>348</td> <td>やや多</td> </tr> <tr> <td>下関市</td> <td>3,053</td> <td>1,633</td> <td>前年より多</td> </tr> </tbody> </table> <p>阿東町の平年値は過去9年の平均値。</p>	地点	本年 (頭)	平年 (頭)	概評	岩国市	722	544	平年並	周南市	5,319	3,179	多	阿東町	1,270	499	多	萩市	785	348	やや多	下関市	3,053	1,633	前年より多	県内全域	-
地点	本年 (頭)	平年 (頭)	概評																								
岩国市	722	544	平年並																								
周南市	5,319	3,179	多																								
阿東町	1,270	499	多																								
萩市	785	348	やや多																								
下関市	3,053	1,633	前年より多																								
オオタバコガ	山口市大内のフェロモントラップによる 10月の誘殺数は、11頭(平年36頭)で平年 に比べやや少なかった。	県内全域	-																								

注1) キャベツのオオタバコガ、ウワバ類、ハイマダラノメイガの平年値は過去9年の平均値。

注2) キャベツのシロイチモジヨトウの平年値は過去8年の平均値。

注3) トマト(雨よけ)の病害およびハモグリバエ類の平年値は過去9年の平均値。

お問い合わせは山口県病虫害防除所へどうぞ

電 話	0 8 3 - 9 2 7 - 4 0 0 6
F A X	0 8 3 - 9 2 7 - 4 0 7 1
テレホンサービス	0 8 3 - 9 2 7 - 4 6 4 9

作 物                      担 当 者

普通作	：野崎(病害)	中川浩二(虫害)
果 樹	：藤村(病害)	殿河内(虫害)
野 菜	：岡田(病害)	畑中(虫害)